

トーゴの日シンポジウム

2024

AI+ロボティクス + データベースが 変える 生命科学

#togo2024

10.5[±] 9:30-17:40

18:00-19:30 意見交換会

会場：品川ザ・グランドホール **一部ライブ配信**

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構

参加費無料

意見交換会へのご参加には参加費を申し受けます

LLM (Large Language Models : 大規模言語モデル)、LMM (Large Multimodal Models : 大規模マルチモーダル・モデル)、ARW (Automated Research Workflow : 研究ワークフローの自動化) など、AI 関連技術・ロボティクスの進展・高度化が国際的に急速に進んでいます。

AI 関連技術により、研究データをより多くのデータを俯瞰的かつ高度に利用し、想定外の発見、思いがけない成果が生まれていくだけではなく、生命科学の方法論自体が大きく変わっていく可能性も孕んでいます。

このような AI 関連技術の発展の一翼を担うのは、誰もが信頼して利用できるように研究データを提供してきたデータベースです。しかし、技術の発展に伴う生命科学の方法論の革新によって、今後、データベースの意義や期待される機能は大きく変わってゆくかもしれません。

データベースは、今後、どんな価値の提供が求められてゆくでしょうか？

本シンポジウムでは生命科学データベース、AI、ロボティクスの専門家がつどい、来たる新時代の生命科学の研究と公共データベースのあり方を議論します。



東京大学
宮尾 祐介



理化学研究所
高橋 恒一



登録詳細

登録期日 **2024年10月2日正午まで**

下記ウェブサイトからフォームにてご登録ください。

<https://biosciencedbc.jp/event/symposium/togo2024/>



9:30 開会挨拶

9:35 来賓挨拶

9:40 招待講演

「自然言語処理と大規模言語モデルの発展と応用の可能性」

宮尾 祐介 (東京大学 大学院情報理工学系研究科 教授)

「ロボティック・バイオロジーによる生命科学の加速」

高橋 恒一 (理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー)

質疑応答

10:50 休憩

11:00 口頭発表

▶ 座長：伊藤 隆司 (NBDC 「統合化推進プログラム」研究総括 / 九州大学 大学院医学研究院 教授)

「バイオデータサイエンス時代の統合化推進プログラム」

伊藤 隆司 (NBDC 「統合化推進プログラム」研究総括 / 九州大学 大学院医学研究院 教授)

「AI 駆動型データキュレーションによる中分子相互作用統合データベースの開発」

池田 和由 (理化学研究所 計算科学研究センター 上級研究員)

「細胞レベルの機能・表現型と遺伝子発現を関連付ける「Cell IO」データベースの開発」

尾崎 遼 (筑波大学 医学医療系 准教授)

「創発的再解析のためのメタボローム統合データベース」

早川 英介 (理化学研究所 環境資源科学研究センター 客員研究員 / 九州工業大学 情報工学研究院生命化学情報工学研究系 准教授)

11:35 休憩

12:35 ライトニングトーク

13:35 ポスターセッション

15:50 休憩

16:05 パネルディスカッション

「生命科学の未来を予想する——データベースはもう要らなくなる...ってコト?!」

▶ オーガナイザー：高木 利久 (NBDC ライフサイエンスデータベース特別主監 / 富山国際大学 学長)

▶ パネリスト：二階堂 愛 (理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー /

東京医科歯科大学 (※) 難治疾患研究所 教授) ※ 2024 年 10 月より東京科学大学へ改称

牛久 祥孝 (オムロンサイニクエックス株式会社 リサーチバイスプレジデント)

大上 雅史 (東京工業大学 情報理工学系 准教授) ※ 2024 年 10 月より東京科学大学へ改称

大田 達郎 (千葉大学 国際高等研究基幹 / 大学院医学研究院 テニュアトラック 准教授・

千葉大学 データサイエンスコア 副ダイレクター)

森 宙史 (情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 准教授)

17:35 閉会挨拶

18:00 意見交換会 (要参加費)